

黒石小学校

児童数 43人
所在地 水沢黒石町字長根 2-15 ☎ 2224



黒石小学校は、本年度、創立 145 周年を迎えました。学区は、緑と山に恵まれた自然環境と、奥の正法寺、黒石寺という歴史と伝統を有する地域です。

本校では伝承活動として蘇民太鼓を代々引き継いできました。毎年、幼小文化発表会で披露しています。勇壮な太鼓の響きと掛け声がこだまする中、子どもたちは精一杯演奏をしました。

正法寺の皆さんとの交流会

10 月 24 日、正法寺見学に行き、正法寺の皆さんと全校児童との交流会を行いました。初めに、正法寺の歴史と施設について説明をしていただきました。その後、昼食には精進料理をいただきました。子どもたちは、初めての精進料理の作法を真剣に聞き、みんなでおいしくいただきました。今後も、黒石地区の名刹である正法寺との交流を深めていきたいと思えます。



学校通信

万が一に備えて～心肺蘇生法講習会～

毎年、夏休みが近づく 7 月には親子心肺蘇生法講習会が開かれます。夏休みのプール開放に向けて、PTA の厚生委員会が主体となり、親子で AED の使い方を学び、プールでの不測の事態に備えています。本年度も 20 人ほどの参加者が集い、熱心に実技講習に臨みました。一人一人が実技を行う機会をもち、心肺蘇生法についての理解を深めました。



大運動会開催！

本年度は創立 145 周年を記念して、盛大に大運動会を開催しました。毎年恒例の親子競技では、親子ペアで協力しながらボール運びやパン食い競争などで競い合いました。子どもたちは競技を通して、いっそう親子の絆を深めました。



その他に、PTA による競技や、地区が一体となった綱引き競技も行いました。地区の精鋭たちが持ち前の力を発揮し熱戦を繰り広げ、会場は大いに盛り上がりました。

昔遊びで交流しました

11 月 8 日には「学校を市民に公開する日」の公開授業として、祖父母交流会を行いました。毎年、地区ごとにグループを組み、昔遊びで祖父母の皆さんと交流しています。この日は、こま回しやビー玉、かるたなどの遊び方のコツを教えてもらい、うまくできると大きな歓声が上がっていました。子どもたちにとって、祖父母の皆さんと触れ合う良い機会となりました。



自己ベスト更新を目指して～校内マラソン大会～



10 月、日頃の練習の成果を試すため、校内マラソン大会を開催しました。8 月末から業間運動として、全校マラソンに取り組んできました。子どもたちは日ごとに記録を更新し、大会では新記録を打ち立てる子どももいました。努力を重ねてきた子どもたちは、自己ベストを更新しようと一人一人が力を出し切り、ゴールした後はたくさんの笑顔が見られました。



いいところ、知っとこ おうしゅう

地区センター単位で
各地区を紹介します



羽田地区

拠点 羽田地区センター
(水沢羽田町久保 9 番地 ☎ 7445)

羽田地区は、本市の中心部から国道 397 号を東に約 4 キロ、北上川東岸に位置します。南北には県道 14 号が通り、東北幹線水沢江刺駅があります。東京から最速 2 時間 20 分、仙台市から約 50 分と、大都市圏などからの玄関口となっています。また、古くから南部鉄器の生産地としても知られ、多くの工場が操業しています。市総合体育館があり、各種スポーツ行事が盛んに行われています。



南部鉄器

平成 29 年度には第 2 次コミュニティ計画を策定し、「自然と文化・伝統の息づく緑豊かなふれあいのまち『住みよいまち 住みたいまち羽田』」を目標に掲げています。地区センターを活動拠点として、コミュニティ計画の実践に日々励んでいます。

市内春祭りの先駆け 羽田町火防祭

毎年 3 月の最終日曜日、羽田町火防祭が行われます。本市では一番早い春の祭りです。祭りの華である剣ばやしや纏振り、羽田ふるさと音頭などで、奥州の春を彩ります。



アテルイ・モレ ロマン古道 東海道



水沢江刺駅の東部には、アテルイの拠点であったと伝わる羽黒山がそびえ立ちます。その南北には古代の官道（国が整備した道路）として江戸時代まで使われていた東海道が通ります。毎年 10 月に「東海道を歩く会」が行われ、30 年度は市内外から 30 人を超える参加がありました。

南部鉄器の一大産地

地区内には大小 40 を超える工場があります。毎年 10 月に行われる奥州市南部鉄器まつりには、4 割引きで販売される南部鉄器などを求め、全国からたくさんの方が訪れます。鉄ゲタ飛ばしや風鈴釣りなど、南部鉄器関連のイベントがめじろ押しです。

